

今月の /

asten Bookshelf

vol.
08



静岡がテーマ。読後は地元愛がさらに膨らみそう。

01 天浜線が舞台 切ない五つの物語



静岡県に実在する寸座駅に、「たまるベンチ」と呼ばれるベンチがある。そこに腰掛け、もう二度と会えない人との再会を願うと、やがて到着する列車からその人が降りてくるという言い伝えがあった。ただし、会えるのは一度だけ…。切なくも温かい五つの物語を収録。

無人駅で君を待っている

著:いぬじゅん 発行:スタートズ出版
1300円+税 ソフトカバー四六判312P

02 静岡の豊かな海の幸 味わい尽くす



相模湾から駿河湾、遠州灘まで、海に面した静岡県には50もの漁港が点在する。その港町で評判の70店を紹介する。稲取キンメに新居のカキ「プリ丸」、御前崎生かつおなど、ご当地ブランドの魚介も。旬の魚を求めて西へ東へ、静岡の豊かな海の幸を味わい尽くす一冊。

ぐるぐる文庫Special

さかな三昧 港町で評判の魚がうまい店

静岡新聞社編 1300円+税 A5判128P